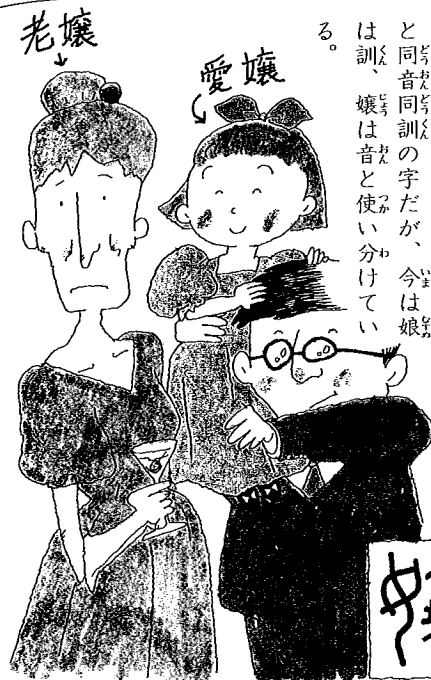


嬢

おん ジョウ

16画
く じ 嬢 嬢 嬢 嬢

なりたち 旧字体は嬢。酒が仕上がる醸、討論が仕上がる讓の裏(嬢)と女との会意形声字。一人前に仕上がった女という意味の字。嬢(音はジョウ)と同音同訓の字だが、今は嬢は訓、嬢は音と使い分けている。



いみじゆくこ

▼むすめ。令嬢：他家の娘を敬つていう言葉。愛嬢：かわいがっている娘。まなむすめ。老嬢：結婚適齢期が過ぎた、未婚の女性。

▼結婚してない女性を呼ぶ時に使う言葉。例お嬢さん。鈴木嬢

嬢

嬢

嬢

おん ジョウ

16画
く じ 嬢 嬢 嬢 嬢

なりたち 旧字体は嬢。稲が豊かに実る「ことを嬢(じょう) (嬢の旧字体)」という。穀物を豊かに実らせる意味の裏(じょう)と土との会意形声字。「肥えた土」を表したものを。転じて、単に「土」の意味に用いられる。



いみじゆくこ

▼土。土嬢：土。嬢土：農耕に適した黒い土。大地。天嬢：天と地。例天嬢無窮(天地と同じように窮まること無く続くこと。)

嬢

初

おん ショ

7画
ナ ネ ネ 初 初

なりたち 衣と刀との会意字。衣服を作る時に、一番初めに「裁断(布を断つこと)」を表した字。衣の裁ち初めの意味から、広く「物事の初め」の意味に用いる。

〔4年〕

はじめる・はじめる・はじめる・はじめる

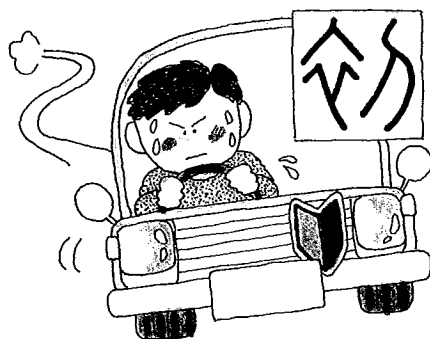
いみじゆくこ

▼初め。始まり。最初：一番初め。例最後・最終。当初：その事に当たった初めのうち。例当初は事情がよくわからなかった。初期：初めの時期。例初期のころの作品。初春：①春の初め。②正月。新春。新年。初旬：月の初めの十日間。上半旬。

初心：①初めに抱いた決心。②用例初心忘るべからず。③習い始めたばかりで未熟なこと。例初心者。

▼初め。初めて。初孫：初めての孫。初耳：初めて聞くこと。

よみかた 初陣・初産・初対面・初七日・初荷・初物・初雪・初夢・書初め・出初め



初

褐

おん カツ

13画
ネ 初 初 褐 褐 褐

なりたち 旧字体は褐。野生の蔓草(褐)「葛(褐)」の意味の易(つ)と衣との会意形声字。葛の繊維で織った布・衣服を表した字。「粗末な衣服」という意味の字。

いみじゆくこ

▼粗末な衣服。▼黒みがかった茶色。褐色：黒っぽい茶色。褐炭：褐色の石炭。炭化が十分のため褐色をしている。すが多く、火力が弱い。褐鉄鉱：黄褐色(黄色がかった茶色)または、黒褐色(黒みがかった茶色)の鉄鉱。茶褐色

褐

